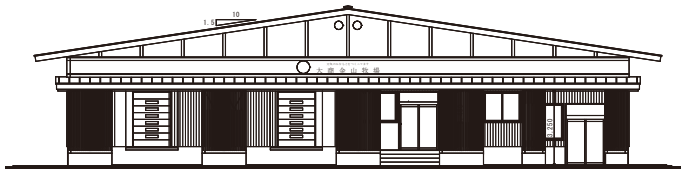


（株）大商金山牧場と町が工場の立地協定を締結

1月6日、株式会社大商金山牧場（小野木重弥代表取締役社長）と町が工場の立地協定を締結しました。これは、過疎債を活用し町が工場を建設。企業に貸し出す仕組みです。

大商金山牧場では、米の娘ファーム（下野明）で生産した豚肉「米の娘ぶた」と金山産のニラやネギなどを使用した加工品（餃子等）の製造のほか、自社製品の販売を計画しています。工場は平成28年度中に建設される予定です。



大商金山牧場の貸工場イメージ図

県LPガス協会最上支部と町が災害時における液化石油ガス等の供給応援に関する協定を締結

1月15日、町と山形県LPガス協会最上支部（青木益人支部長）は、災害時等における応急対策用燃料（液化石油ガス）等の供給応援に関する協定を締結しました。

この協定は、町内に災害が発生した場合に、公共施設や避難所用としてLPガス協会最上支部が町にLPガスや必要な器具を提供するものです。

締結式には、鈴木町長と青木支部長が出席したほか、山形県LPガス協会最上支部 木島宏朗副支部長と金山農業協同組合 星川賢一参事が同席しました。



協約を締結した県LPガス協会最上支部の青木支部長

金山町「集中降雪対策連絡協議会」↓「雪害防止対策連絡会議」に切り替えました

1月19日から20日にかけて金山町に大雪警報が発令され、町内にまとまった雪が降り、20日午前8時の積雪深が104センチメートルに達しました。

これに伴い、町では「金山町集中降雪対策連絡会議」を設置しました。座長は土屋倫朗副町長です。

会議では町内の道路状況や施設の点検を行った結果を報告。直ちに関係機関と連携し、除雪体制の強化や行政情報放送による事故防止の呼びかけなどを行いました。

1月25日、雪は小康状態となったため、集中降雪対策連絡会議を解除し、「金山町雪害防止対策連絡会議」を設置しました。

引き続き、気象情報に留意しながら町民の皆さんの安全・安心な暮らしの確保に努めていきます。

なお、町道の除雪に関するご要望及びお問い合わせは、各地区の区長を通じてお願いします。ご家庭の雪を水路に流す際は、地区内やご近所と調整の上、節度ある除雪作業をお願いします。

す。水路の水量等は、各地区の水利組合で管理しています。役場では対応できない場合もありますのでご理解とご協力をお願いします。

平成27年ふるさと納税 全国からの応援の気持ちに感謝！

当町は、平成20年からふるさと納税の受付をスタートし、これまでで累計1万9千758件、2億6千3百91万9千円（平成28年1月28日現在）のご寄附をいただきました。

平成27年中には、9千541件、1億6百6万9千円をふるさと納税としてご寄附いただきました。

平成26年と比べると1・6倍以上の寄附金額となっております。ふるさと納税の本来の趣旨を大切に考え、町に直接のご縁が無い寄附者の方にも、金山を訪ねてみたい、また来年も金山を応援したい、と想っていただけのように「金山らしさ」が伝わるような温かな対応で今後も取り組んでいきたいと考えています。



町オリジナルの米袋を使用したお米など30点以上のお礼の品物も大変好評です。